



Newsletter

日本食物繊維研究会

No. 15
2003

No.15 Apr 2003

日本食物繊維研究会第8回学術集会の御案内	1
日本食物繊維研究会第8回学術集会開催および演題募集のお知らせ	2
日本食物繊維研究会平成14年度総会記事	4
編集委員会より	8

日本食物繊維研究会 第8回学術集会の御案内

第8回学術集会長 (株) 大塚製薬工場
郡 英明

現在、食物繊維の領域で直面している大きな問題は「定義」と「分析方法」だと思います。食物繊維の研究が始まって30年以上が経過した今でも「食物繊維とは？」という簡単な問いに答えることができない。Trowell (1972)による定義も、その後の試みも多く知見が増えたにもかかわらず、十分には答えられない。グローバルスタンダードとして世界にどう答えていくか、我々の大きな課題であると考えます。

今日の食物繊維の概念は1970年頃の食事内容と様々な疾患を関連づけた研究の結果です。この頃までは日本人の食事内容はまだまだ貧しく、いかに良質の栄養を摂取するかが課題でした。1970年代後半になって飽食の時代を迎え栄養過剰が問題となりました。それまでは栄養学的には全く役に立たないと考えられ、排除されていた難消化性成分が有用な成分として取り上げられるようになりました。短期間にこれほどの価値観の逆転現象は嘗てなかったことです。これら研究成果を社会に還元することに、この研究会が果たした役割は小さくなく思っています。人々の多様化した価値観とますます変化する食生活に答えるためにも食物繊維研究会の果たすべき役割は大きい。

今回の学術集会では米国ノースダコタ州立大学のGordon教授を迎えての特別講演とシンポジウムⅠ「摂食・嚥下障害の介護食品・食事の現状と開発について」において、才藤教授（藤田保健衛生大）に摂食・嚥下障害の生理について基調講演を頂き、食物繊維の応用を含めて考えたいと思います。シンポジウムⅡ「機能性食品の評価ー特定保健用食品からグローバルスタンダードへー」では、食物繊維の機能評価やヒトでの評価法の現状と問題点、さらに最新のPass Claim (欧州連合の機能性食品評価プロジェクト) 情報やCODEX委員会におけるグローバルスタンダードへの展開について論議したいと企画しました。さらに、食物繊維から始まり、世界に発信した機能性食品の将来について考えたいと思います。

また、毎年開催の公開講演会は11月22日(土)午後、同じ会場で予定しております。徳島県は糖尿病による死亡率(人口10万人対)全国一位が続いています。徳島県民にとって糖尿病予防と対策は大きな課題となっているので、「食物繊維と糖尿病」を取り上げることにしました。

第8回学術集会開催および演題募集のお知らせ

1. 第8回学術集会開催のご案内

本年の日本食物繊維研究会第8回学術集会を（株）大塚製薬工場・郡 英明氏を学術集会会長とし、関係諸先生のお世話により下記の通りに開催します。会員多数のご参加と食物繊維をはじめとする難消化性糖類周辺の幅広い分野からの演題申込を期待します。

なお、詳細につきましては研究会誌第7巻1号にてお知らせいたします。

1) 日 時： 平成15年11月21日（金），22日（土）

2) 場 所： 阿波観光ホテル

〒770-0833 徳島市一番町3-16-3

Tel: 088-622-5161 Fax:088-622-2857

3) スケジュール

第一日目 11月21日（金）

午前：一般演題発表，評議員会・総会

午後：Gordon教授（ノースダコタ州立大学）特別講演

“The role of food chemicals in human nutrition, bodily functions and health”

シンポジウムⅠ 摂食・燕下傷害介護食品・食事の現状と開発

第二日目 11月22日（土）

午前：一般演題発表

シンポジウムⅡ 機能性食品の評価ー特定保健用食品からグローバルスタンダードへー

午後：市民公開講演会 食物繊維と生活習慣病ー特に糖尿病（仮）ー

4) 講演および討論

発表はスライドプロジェクター，Power Point (Windows, Macintosh)，OHPを用意致します。

5) 学術集会受付

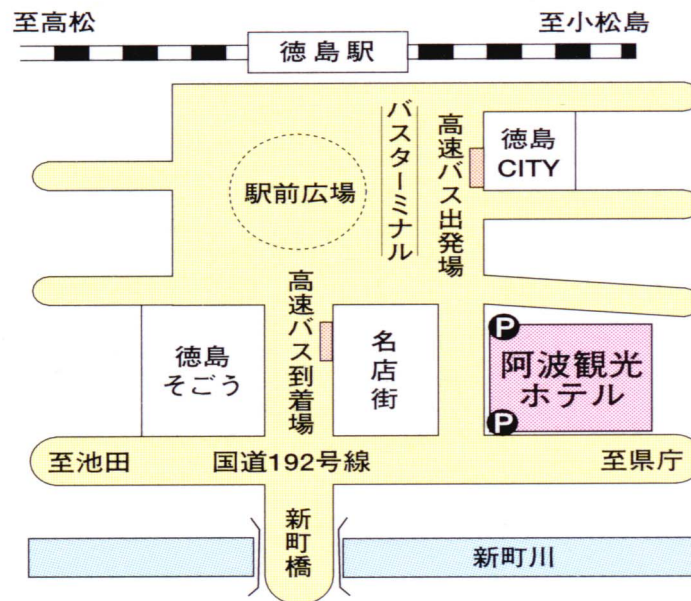
受付は開始30分前より行います。参加費・会場費（講演要旨集込み）として，正会員 3,000円，学生会員 1,500円，非会員 4,000円を申し受けます。

6) 呼び出し，クローク，昼食，宿泊等の手配など

- ・ホテルのクロークをご利用下さい。
- ・昼食弁当等は用意致しませんので近くのレストランをご利用下さい。
- ・駐車場は限りがありますので、できるだけ公共の乗り物をご利用下さい。

7) 学術集会会場への交通案内

徳島空港より車で20分（JR徳島駅までバスあり），JR徳島駅より徒歩1分。



2. 一般演題申込要領

1) 申込期限

平成15年9月19日（金）必着のこと

2) 申込先およびお問い合わせ先

日本食物繊維研究会第8回学術集会事務局

〒101-8535 東京都千代田区神田司町2-9

大塚製薬株式会社製品部 第8回学術集会事務局

児玉 健嗣 宛

TEL : 03-3293-0822 FAX : 03-3295-7508

E-mail : kodamak@tky.otsuka.co.jp

3) 講演要旨作成にあたって

- ・講演要旨作成要領の詳細については研究会誌第7巻1号にてお知らせします。
- ・講演要旨原稿はB5サイズ2頁（B4サイズで見開き1頁になる）の予定です。
- ・講演要旨原稿は印刷物とフロッピーを送付いただく予定です。

4) その他

- ・発表者のうち1名以上は本研究会会員であることが必要です。
 - ・演題の採否，講演日時等はプログラム委員会にお任せください。
- プログラムは学術集会前に届くよう発送の予定です。

日本食物繊維研究会平成14年度総会記事

平成14年度事業報告

1. 庶務関係報告

1) 会員の状況

平成14年10月30日現在の会員数は次のとおりである。

正会員：216，学生会員：8，名誉会員：9，団体会員：4，賛助会員：45

2) 役員

会長：池田義雄

副会長：池上幸江

常任幹事：青江誠一郎，奥恒行，金谷健一郎，倉沢新一，真田宏夫，
高橋成子，田所忠弘，森豊，山下亀次郎，山田和彦

幹事：海老原清，片山洋子，斎藤洋子，坂田隆，菅野道廣，竹久文之，
土井邦紘，中村尚夫，浜野弘昭，原田悦守，大隈一裕，和田政裕，
井出留美

監事：森文平，永山スミ

3) 常任幹事会

第30回：平成14年4月19日（於：独立行政法人 国立健康・栄養研究所）

第31回：平成14年9月26日（於：独立行政法人 国立健康・栄養研究所）

第32回：平成14年12月3日（於：独立行政法人 国立健康・栄養研究所）

4) 評議員会

第7回：平成14年11月1日（於：独立行政法人 国立健康・栄養研究所）

5) 総会

第7回：平成14年11月1日（於：独立行政法人 国立健康・栄養研究所）

6) 産学協議会

第7回：平成15年3月14日（於：独立行政法人 国立健康・栄養研究所）

テーマ：「食物繊維の定義をめぐる問題」

2. 学術関係報告

1) 第7回公開講演会

日時：平成14年10月26日（土）

場所：大手町サンケイプラザホール

演題，演者：「健康と食物繊維」

1. 「食べ物の持つ機能と健康」

（東京農業大学・荒井綜一先生）

2. 「穀類を中心とした食生活の重要性」

（せんぽ東京高輪病院・足立香代子先生）

3. 「高齢化社会における食物繊維の役割」

（タニタ体重科学研究所・池田義雄先生）

協賛：日本ケログ株式会社

2) 第7回学術集会

日 時：平成14年11月1日（金），2日（土）

場 所：独立行政法人 国立健康・栄養研究所（東京都新宿区）

シンポジウム I 「多糖類の物性と構造」

1. ルミナコイド研究の回顧と展望 —新機能性素材の創造へ—

桐山 修八（大妻女子大）

2. セルロースの機能性

畠山 立子（大妻女子大）

3. 多糖類の粘性と構造の関連

小川 悦代（昭和学院短大）

4. 多糖類のレオロジー

高橋 正人（信州大）

5. 多糖類コンプレックス形成，あるいは化学構造改変の技術

中村 邦雄（大妻女子大）

6. 多糖類のゾルーゲル転移—構造から見て

梶原 莞爾（大妻女子大）

シンポジウム II 「難消化性成分と消化管機能」

1. 咀嚼と食物繊維—生活習慣病・ぼけ予防をめざして—

斎藤 滋（日本咀嚼学会）

2. 難消化多糖類の物性と小腸消化吸收機能の関連

海老原 清（愛媛大）

3. 難消化性糖類とカルシウム吸収機構

合田 敏尚（静岡県立大）

4. 食物繊維と大腸機能

坂田 隆（石巻専修大）

一般演題 18題

3) ニュースレターの発行

第13号：平成14年 4月25日発行 発行部数300部

第14号：平成14年10月 8日発行 発行部数300部

4) 研究会誌の発行

第6巻1号：平成14年 6月30日発行 発行部数500部

第6巻2号：平成14年12月31日発行 発行部数500部

3. 経理関係報告

平成13年度収支決算（平成13年4月1日～平成14年3月31日）

1) 一般会計収支決算（単位：円）

収入の部				支出の部			
科目	決算額	予算額	増△減	科目	決算額	予算額	増△減
会費収入	2,886,000	2,687,500	198,500	運営費	1,381,669	1,650,000	△ 268,331
正会員	(659,000)	(630,000)	(29,000)	印刷費	(425,040)	(500,000)	(△ 74,960)
学生会員	(12,000)	(7,500)	(4,500)	通信費	(173,740)	(350,000)	(△ 176,260)
団体会員	(40,000)	(50,000)	(△ 10,000)	消耗品費	(79,537)	(100,000)	(△ 20,463)
賛助会員	(2,175,000)	(2,000,000)	(175,000)	人件費	(180,000)	(200,000)	(△ 20,000)
※賛助会費	来年度分(150,000)は14年度に繰越し			会議費	(188,372)	(150,000)	(38,372)
事業収入	1,192,485	1,110,000	82,485	交通費	(309,000)	(300,000)	(9,000)
会誌等頒布収入	(337,770)	(110,000)	(227,770)	雑費	(25,980)	(50,000)	(△ 24,020)
広告掲載収入	(744,475)	(850,000)	(△105,525)	事業費	2,400,175	2,800,000	△ 399,825
別刷り料	(110,240)	(150,000)	(△ 39,760)	学術集会補助	(400,000)	(400,000)	(0)
剰余金繰入	4,305,377	4,305,377	0	公開講演会補助	(200,000)	(200,000)	(0)
利息配当金	3,572	10,000	△ 6,428	研究活動費	(71,230)	(400,000)	(△ 328,770)
普通預金	(337)	(0)	(337)	会誌発行費	(1,728,945)	(1,800,000)	(△ 71,055)
特別会計	(3,235)	(10,000)	(△ 6,765)	予備費	0	3,672,877	△3,672,877
その他の収入 (雑収入)	0	10,000	△ 10,000	当期剰余金	4,605,590	0	4,605,590
合 計	8,387,434	8,122,877	264,557	合 計	8,387,434	8,122,877	264,557

2) 特別会計収支仮決算（単位：円）

収入の部				支出の部			
科目	決算額	予算額	増△減	科目	決算額	予算額	増△減
一般会計繰入金	4,500,000	4,500,000	0	一般会計繰出金	3,253	10,000	△6,747
利息配当金収入	3,253	10,000	△6,747	研究会基金繰越	4,500,000	4,500,000	0
合 計	4,503,253	4,510,000	△6,747	合 計	4,503,253	4,510,000	△6,747

平成15年度事業計画

1. 学術関係

1) 第8回学術集会の開催

集会長：郡 英明（株式会社大塚製薬工場）

2) 第8回市民公開講演会の開催

場所：阿波観光ホテル（徳島市）

3) ニュースレターの発行

第15号：平成15年 4月 1日発行予定 発行予定部数300部

第16号：平成15年10月15日発行予定 発行予定部数300部

4) 研究会誌の発行

第7巻1号：平成15年 6月15日発行予定 発行予定部数500部

第7巻2号：平成15年12月15日発行予定 発行予定部数500部

5) その他

定量法およびリサーチ・プロジェクトの各部会の活動を継続し、情報等その他部会活動を検討する。

2. 経理関係（平成15年4月1日～平成16年3月31日）

1) 一般会計収支予算（単位：円）

収入の部		支出の部	
科 目	予算額	科 目	予算額
会費収入	2,942,500	運営費	1,350,000
正会員 3,000 × 214	642,000	印刷費	200,000
学生会員 1,500 × 7	10,500	通信費	350,000
団体会員 10,000 × 4	40,000	消耗品費	100,000
賛助会員 50,000 × 45	2,250,000	人件費	200,000
事業収入	1,250,000	会議費	150,000
会誌等頒布収入	300,000	交通費	300,000
広告掲載収入	850,000	雑 費	50,000
別刷り代	150,000	事業費	3,000,000
余剰金繰入*	4,600,000	学術集会補助	400,000
利息配当金	10,000	公開講演会補助	200,000
その他の収入（雑収入）	0	研究活動費	400,000
		会誌発行費	1,800,000
		H P 維持費	200,000
		予備費	4,462,500**
合計	8,812,500**	合計	8,812,500**

*平成14年度余剰金からの繰入金

**修正箇所（平成15年度総会で要修正承認）

2) 特別会計収支予算（単位：円）

収入の部		支出の部	
科 目	予算額	科 目	予算額
研究会基金よりの繰入	4,500,000	一般会計への繰入金	10,000
利息配当金収入	10,000	研究会基金繰越	4,500,000
合計	4,510,000	合計	4,510,000

3. 平成15, 16年度役員改選

下記の役員案が承認されました。

会 長 : 池田義雄

副会長 : 池上幸江

常任幹事 : 青江誠一郎, 大隈一裕, 奥恒行, 金谷健一郎, 倉沢新一,

真田宏夫, 田所忠弘, 森豊, 山下亀次郎, 山田和彦

幹 事 : 井出留美, 海老原清, 片山洋子, 斎藤洋子, 坂田隆, 菅野道廣,

竹久文之, 土井邦紘, 中村尚夫, 浜野弘昭, 原田悦守, 和田政裕

監 事 : 森文平, 永山スミ

名誉会員 : 印南敏, 桐山修八, 五島雄一郎, 笹山堅, 馬場茂明, 福場博保,

細谷憲政, 光岡知足, 吉田昭

(敬称, 所属略)

編集委員会より

新規入会者の募集と論文投稿のお願い

当研究会のさらなる発展のためには会員ならびに投稿論文数の増加が必須といっても過言ではありません。是非とも声をかけていただきますようお願いいたします。

平成15年度会費納入のお願い

当研究会は学術集会、公開講演会の開催、研究会誌、ニューズレターの発行など研究会の運営は会費に依存しております。平成15年度の会費は、平成15年5月31日までに同封の振込用紙でご納入下さいますようお願いいたします。

平成15年度会費

正会員	3,000円	学生会員	1,500円
団体会員	10,000円	賛助会員	50,000円（一口）

会員状況：平成15年3月31日現在

正会員	226名	学生会員	8名	賛助会員	44社
団体会員	4団体	名誉会員	9名		

【賛助会員】

参松工業株式会社	太陽化学株式会社	株式会社荻野商店
全国精麦工業協同組合連合会	大日本製菓株式会社	日本食品化工株式会社
佐合食品工業株式会社	ダニスコジャパン株式会社	大塚製菓株式会社
雪印乳業株式会社	伊那食品工業株式会社	財団法人日本こんにやく協会
株式会社はくばく	日本ケロッグ株式会社	株式会社林原生物化学研究所
社団法人菓子総合技術センター	松谷化学工業株式会社	サントリー株式会社
オリヒロ株式会社	株式会社カイゲン	富士バイオ株式会社
日清ファルマ株式会社	日本甜菜製糖株式会社	武田キリン薬品株式会社
日本バイオコン株式会社	旭化成株式会社	株式会社横浜国際バイオ研究所
第一出版株式会社	清水化学株式会社	日清食品株式会社
三和澱粉工業株式会社	昭和産業株式会社	株式会社日健総本社
朝日食品工業株式会社	フィプロ製菓株式会社	明治製菓株式会社
アール・ズ・イングリデ・イェンツ・ジャパン株式会社	コロト・ナチュレル・ジャパン株式会社	大和薬品株式会社
株式会社東洋新薬	日本エヌエスシー株式会社	株式会社バイオテックジャパン
ロケットジャパン株式会社	株式会社大麦発酵研究所	(順不同)

日本食物繊維研究会 JDF News Letter No. 15

発行日	：2003年4月25日	
発行人	：日本食物繊維研究会会長 池田義雄	
編集人	：奥 恒行、青江誠一郎	
事務局	：日本食物繊維研究会事務局	
	〒162-8636 東京都新宿区戸山1-23-1	
	独立行政法人 国立健康・栄養研究所 食品表示分析・規格研究部 気付	
	TEL：03-3203-5602, FAX：03-3205-6549	
印刷所	：株式会社 交友社	
	〒136-0072 東京都江東区大島8-38-5	

